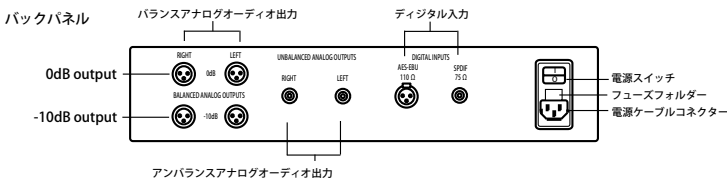


CD文明に捧ぐ



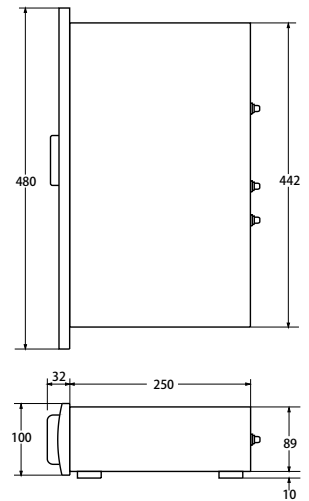
R-DACは「CDを聴きたい、それも妥協のない素晴らしい音質で」という音楽ファンの切実な声に応えます。さらに192kHz、24bitsを含む、《現在考えられるほとんどの》ステレオ・リニアPCM信号に対応し、そのすべてを768kHz、24bitsというきめ細かなデジタル信号に再構成。したがってD/Aは768kHz、24bitsに統一して処理されます。しかも外部のクロックには一切頼らないので、ジッターに反応しないという大きな特徴を持ちます。この余裕がその後のアナログ信号処理を簡素にし、サンプリングが44.1kHzのCDからも20kHzがフラットでグループディレイのない、つまり音楽の空間情報を蓄えた、極めて素性のよいアナログ信号を取り出すことができます。さらにKINOSHITAがMSP-1やHQSパワーアンプで実証してきた比類なきアナログ技術が生かされています。ダイナミック、繊細、広い空間と立体音場、音楽の醍醐味が伝わります。CDの壁を打ち破った音世界をCDから得る。魅力的で、衝撃的な体験です。



☆ R-DACはプラグ&プレイのイージーオペレーション。電源とデジタル入力、アナログ出力の接続だけで、あとは自動対応。一切の面倒な設定作業なしで、使用できます。高性能を身近にします。

☆ デジタル方式のボリュームコントロール (1dB ステップ、-59dB まで) を内蔵しました。パワーアンプを直接ドライブできます。

外觀形状図



実測性能の代表値 Real-world and measured performances:

Digital input section

Wide input range
Transformer isolated SPDIF input
Transformer isolated AES-EBU input

Linear PCM 16~24bit / 28~192kHz
0.2~10Vpp / 75 Ohms
0.5~10Vpp / 110 Ohms

DAC and analog section

True digital to analog conversion rate
Digital to analog conversion resolution for each output
Excellent total harmonic distortion plus noise at full output
Excellent audio dynamic (EIAJ measurement)
Excellent signal to noise ratio
Analog bandwidth
High output driving capability
Maximum output level

768 kHz
Double 24bit and digital balancing
<0.0006 % (1kHz) / <0.0004% (10kHz)
130 dB typical
>130 dB un-weighted (XLR outputs)
Less than -0.06dB at 20kHz
Down to 50 Ohms (0dB XLR)
+18dBu (0dB XLR), +8dBu (-10dB XLR), +8dBu (RCA)

付属品 電源コード (2m)、リモートコントロール、取扱説明書 (保証書を含む)
価格 ¥1,323,000 消費税含む (本体価格 ¥1,260,000)

KINOSHITA について

REY AUDIO は木下正三が1984年に設立した音響機器メーカーです。スタジオモニターを中心に、スタジオ設計から、音楽ファンのためのオーディオ装置まで、幅広く活動しています。特にスタジオモニタースピーカーはKINOSHITA MONITORの愛称で世界中のプロフェッショナルに愛されています。そのKINOSHITA MONITORをドライブするパワーアンプやプリアンプなど、レイオーディオの電子機器に付けられたブランドがKINOSHITAです。

